

令和 6年 3月13日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：デイサービス どんちっち

施設種類：地域密着型通所介護 通所型サービス

会議開催日時：令和6年3月9日（土） 16時～17時30分

開催場所：デイサービス どんちっち

出席者

：7名

（人数）

利用者	0人	有識者等	1人
利用者家族	2人	地域包括支援センター職員	0人
地域住民の代表	1人	益田市職員	1人
その他（代表者、管理者、施設職員等）			2人

【出席者紹介】

【前回開催（9月）以降の活動状況の報告】

どんちっち便り、スナップショット集等を閲覧しながら、行事や日々の様子を報告。

【利用状況報告】

先月（2月）の利用実績の報告

【苦情、事故・ヒヤリハット報告】令和5年9月～令和6年2月

それぞれの事例の状況と対応、今後の対策を報告した。

- ・認知症が徐々に進行し自ら動こうとされなくなった方の脚力の低下により転倒が増えている。
特に自宅玄関を上がる時に立位のまま家族が靴を脱がそうとされ、後方へバランスを崩し支えきれずに転倒することがあり。1年以上前から家族や担当ケアマネージャーに玄関での昇降が不安定で今後転倒のリスクがあり、予防するために椅子を置いてもらうように何度もお伝えしていたが、なかなか受け入れてもらえず。最近になって3度も転倒を繰り返されたことでやっと家族も理解されて椅子を置いて頂けるようになった。
家族との信頼関係を崩さないようにお伝えする難しさを痛感した。
- ・朝来所されたら職員が1人ずつ降車時から施設内の椅子に掛けられるまで、利用者さんについて対応しているが、『少しお待ちください』の声掛けを行っていても、待ちきれないで降りようとする事あり。

- ・ベランダで手を置いたところの木材がやや劣化していて、すい針が刺さった。・・・すぐに修復を行う
等々

【その他】

○特に冬場は体調不良で欠席されたり、長期間のショートステイを何度も利用される方が多く、その減収分を穴埋めすることが困難であるため、その対応に大変苦慮している。（１日で最高１０名までの小規模事業所であるため、ひと月赤字になるだけでも年間を通じて他の月で挽回することが出来ない。）

○現在の職員構成（管理者以外）

常勤 介護職員２名（生活相談員、調理員含む）

非常勤 看護職員０名 介護職員５名（生活相談員含む）

【意見交換等】

○ご意見

（利用者家族より）

入浴はどのくらいの介護度の方まで可能か？重度の方はバスボードを使用してみてはどうか。

（どんちっちより）

貴重なご意見ありがとうございます。前向きに検討してなるべく早期に取り入れるようにします。

（有識者より）

どんちっちは昼食が手作りでとてもおいしいと評判です。それをもっとケアマネに売り込むとか、他の施設にない強みを見つけて発信すると良いと思います。利用者さんは特にご飯と入浴を楽しみに来られる方が多いですよ。

（地域住民）

そうですね、食事はバイキングみたいに目先の変化があると喜ばれると思います。他施設では普段あまり食べられない方もおかわりして食べておられましたよ。

（どんちっちより）

いろんな可能性をスタッフと検討し、より魅力のあるデイサービスにします。

（市職員）

他の小規模デイサービスも体調不良などでの急なお休みはかなり経営に響くといわれていました。

（どんちっちより）

現在取得していない加算で取得できるものがないか等、いろいろ考えてみます。